



パサディナ市ってどんなまち？



アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市の北東 16 km、サン・ガブリエル山のふもとに位置し、海岸まで 1 時間ほどの距離にあります。(左地図)
人口 / 約 14 万 1,510 人
面積 / 61.5km²
気候 / 年平均気温 20℃、年平均降雨量 540mm

カリフォルニア工科大学をはじめとする科学や芸術分野の教育研究機関の所在地としても知られています▼

NASA ジェット推進研究所
では日々研究が進む



写真：パサディナ市庁舎



姉妹都市提携の軌跡を
聞きました



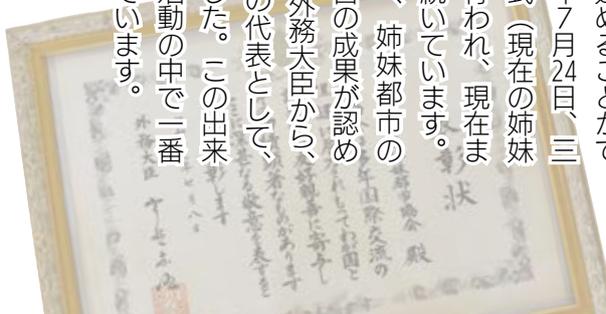
小野金彌さん（現在 94 歳）

三島市国際交流協会の前身・姉妹都市協会発足時から関わり、昭和 48 年～平成 9 年の間両会で会長を務めた。

昭和 32 年 4 月に、「世界友の会」から姉妹都市縁組の提案を受けたことが提携のきっかけです。

パサディナ市には、戦時中日系人の収容所がありました。戦後すぐに解放されたと聞いています。その日系人の方々のご尽力があり、戦後、十数年足らずでしたが、日米のわだかまりもなく、話を進めることができました。そして同年 7 月 24 日、三島にて都市縁組宣言式（現在の姉妹都市提携調印式）が行われ、現在まで活発な国際交流が続いています。

昭和 63 年 7 月には、姉妹都市の交流を通じた国際親善の成果が認められ、当時の宇野宗佑外務大臣から、三島市姉妹都市協会の代表として、表彰状をいただきました。この出来事は、私の国際交流活動の中で一番の名誉だったと思っています。



毎年1月1日開催
来客数 100 万人以上

世界的に有名なローズパレード

三島市公式訪問団

(パサディナ市)

派遣事業参加者募集

訪問団の一員として参加出来る人を募集します。

時10月21日(土)～28日(日) (予定) ※変更になる場合あり

場アメリカ合衆国パサディナ市、サンディエゴ市など

因姉妹都市提携60周年を記念し、パサディナ市に友好親善推進のため訪問団を派遣。訪問期間中は公式行事に参加。

費35万円前後※為替レートにより増減する場合あり

対市民、市内在勤の人

定20人※応募多数時抽選

用7月31日(月)までに郵送、または電子メールで申込用紙(国際交流室備え付け、市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、国際交流室 ☎411・8666 中央町5・5 ✉kokusai@city.mishima.shizuoka.jp

問国際交流室 ☎983・2645



フロート1台につき、平均費用はなんと1,000万円

1890年、ヨーロッパのローズフェスティバルを参考にして始まった。バラで飾られたフロート(山車)、楽団、馬車が、市の大通りを約9kmにわたり行進する模様は圧巻。



約10万人収容できる競技場 ローズボウル・スタジアム

毎年元旦(例外あり)アメリカンフットボールの大学選手権大会ローズボウルが行われることでも有名。

ローズパレードとともに、世界90カ国でテレビ放映される。



ハンティントン・ライブラリー

鉄道王のヘンリー・ハンティントンの元邸宅。シェイクスピアの蔵書では世界一といわれている。

また、ハリウッド映画の撮影地としても使われることも多い。



▲だかしや楽校のボランティアに参加(2016夏期交換研修生)

夏期交換研修生の相互派遣
昭和49年から派遣開始。受入は昭和59年から。大学生を対象にフレンドシップ事業を実施。



▲国際交流協会主催別会(フレンドシップ2014)

青少年交流事業フレンドシップ
平成14年度開始。中学生・高校生を対象に毎年交互に派遣。



▲昨年の「花のまちフェア」楽寿園にて(左から姉妹都市委員会のプライアンさん、トーネックパサディナ市長、豊岡三島市長)

公式訪問団の相互派遣
今年度は、三島市から公式訪問団を派遣(募集記事は上記左)。

パサディナ市との主な交流